

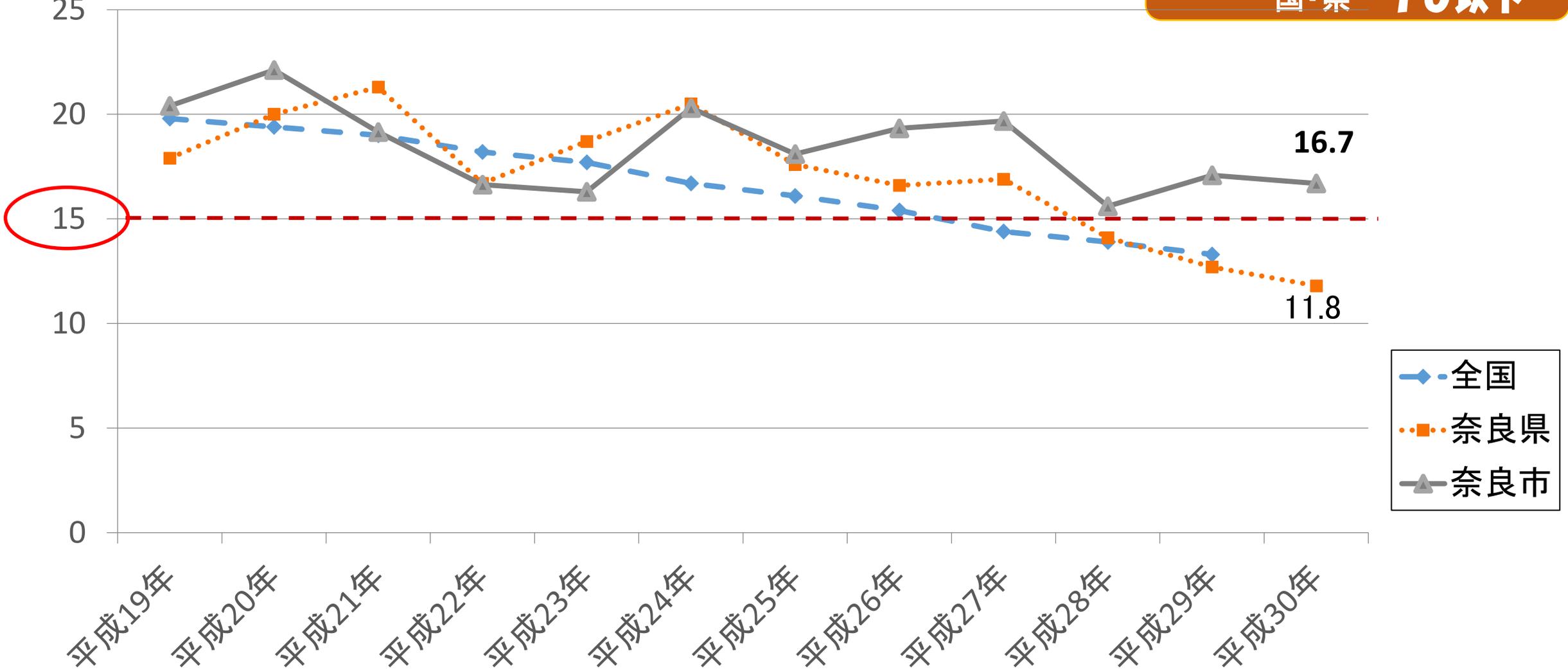
議事 1

奈良市における結核の現状

罹患率

(人口10万対)

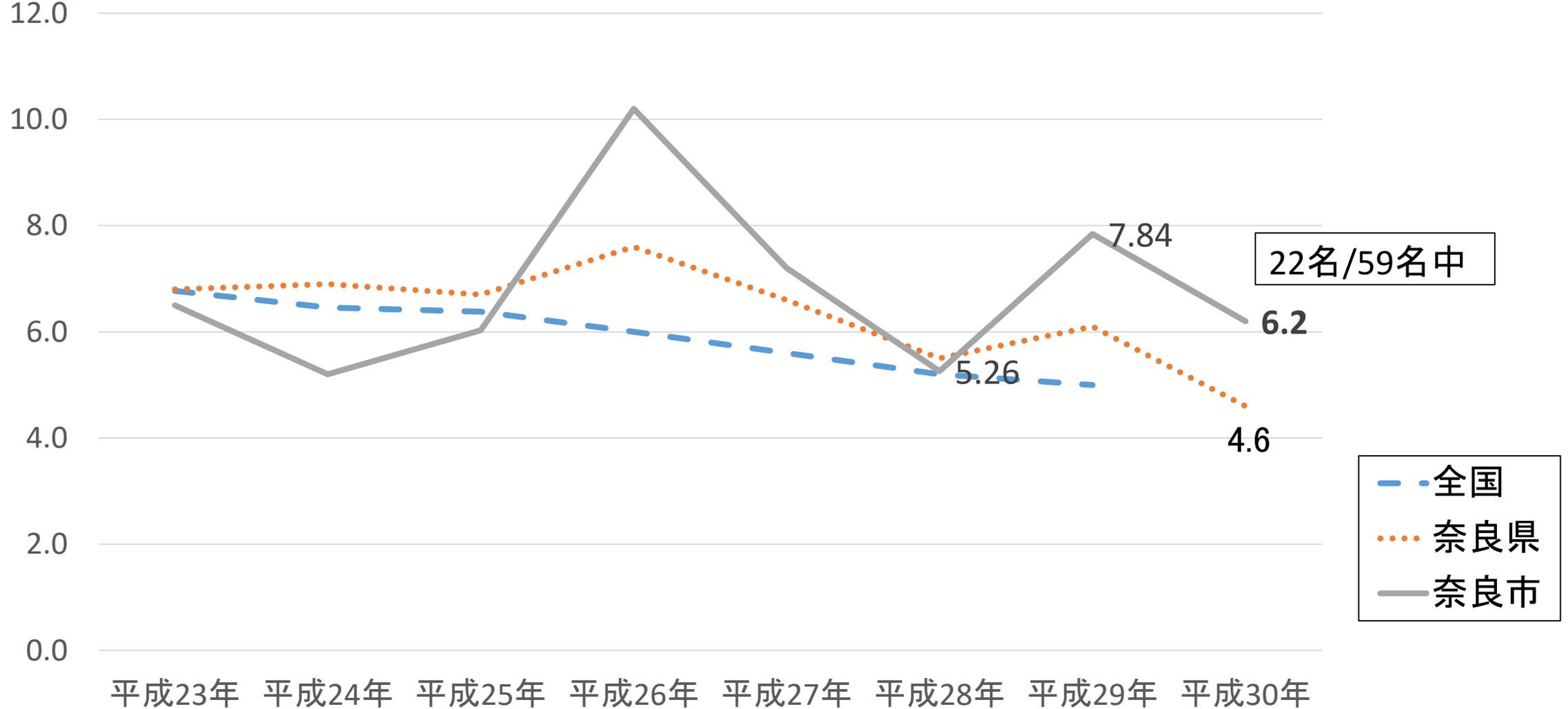
目標 奈良市 **15以下**
国・県 **10以下**



平成24年以降全国より高値に転じ、依然高値のまま横ばい状態が続いている。2

喀痰塗抹陽性肺結核罹患率

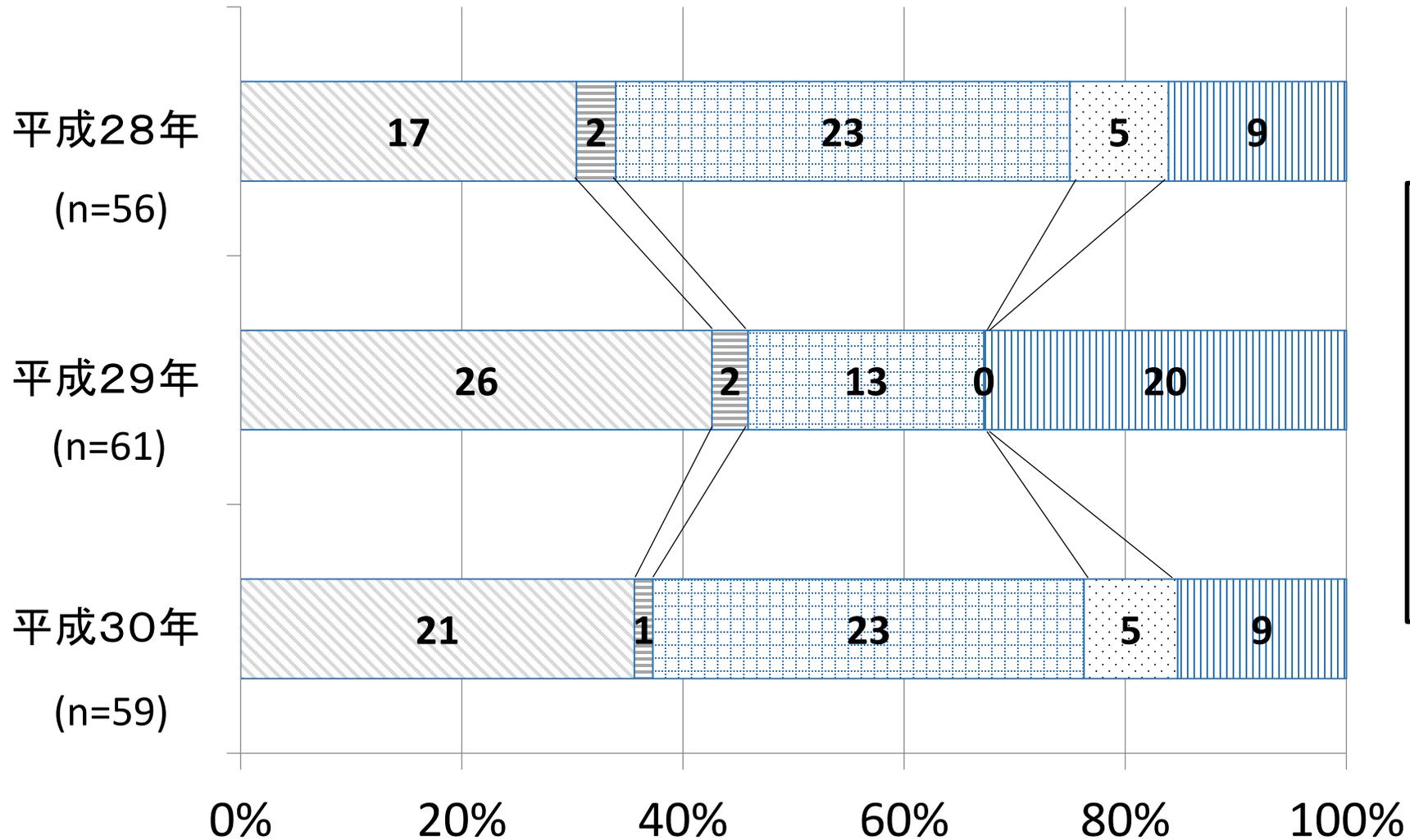
(人口10万対)



22名/59名中

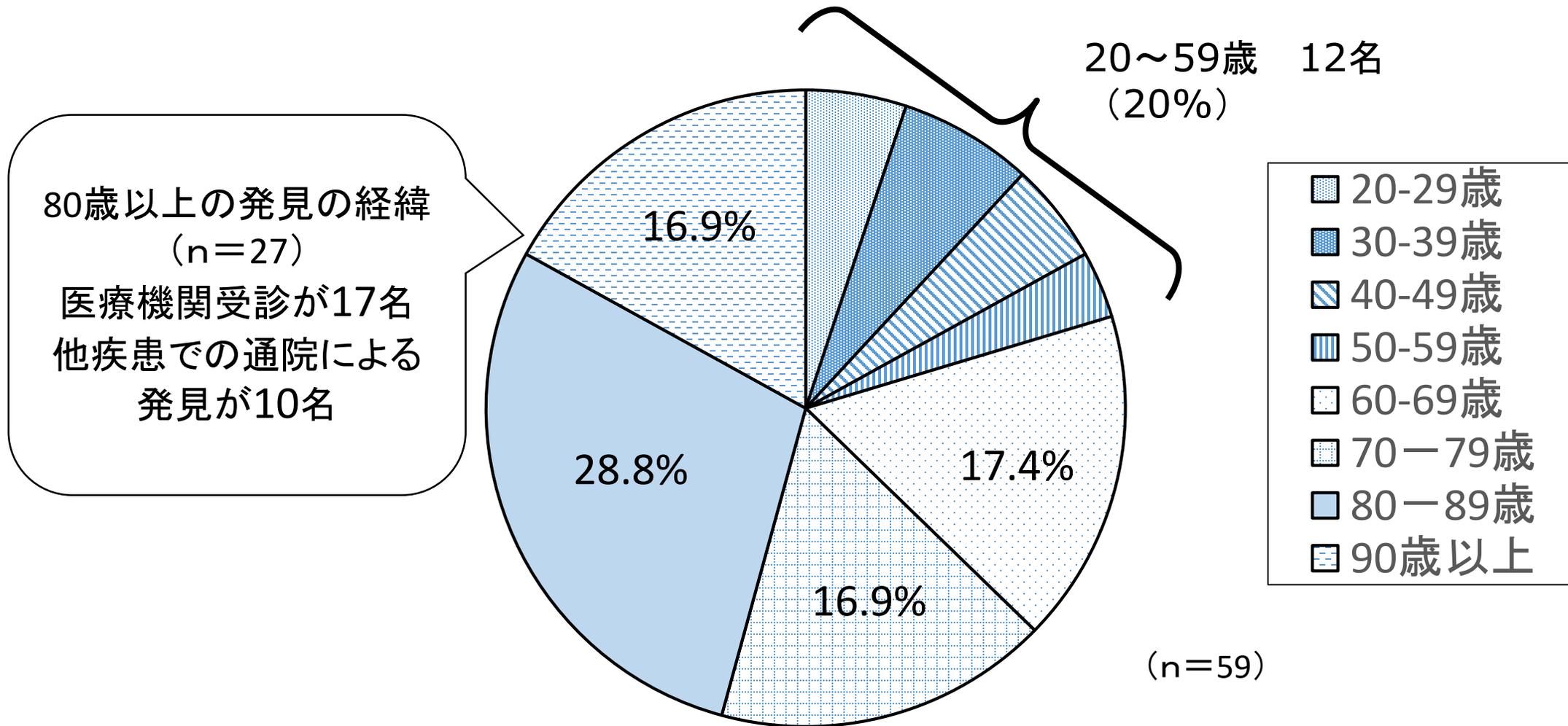
減少傾向にはあるが、奈良県・全国と比較すると高い水準で経過している。

新登録患者 登録時分類別患者割合



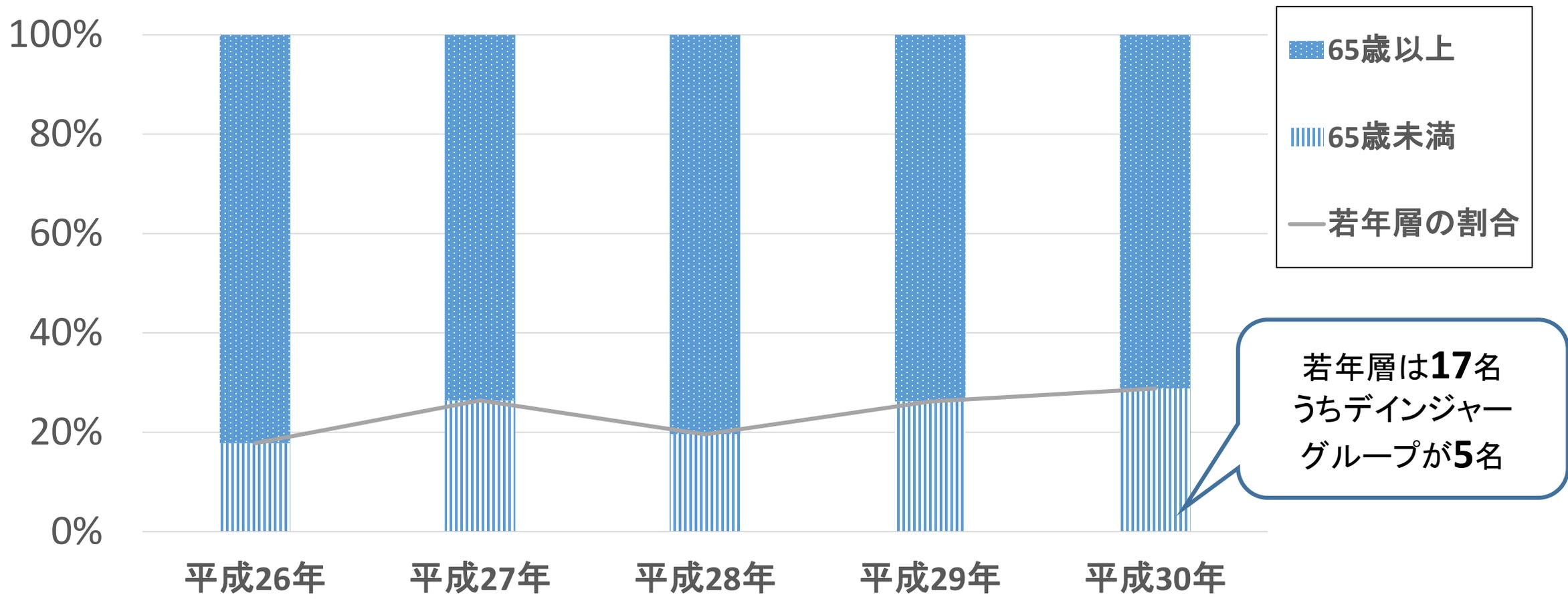
- 肺結核喀痰塗抹陽性 初回治療
- 肺結核喀痰塗抹陽性 再治療
- 肺結核・その他結核菌陽性
- 肺結核・菌陰性その他
- 肺外結核

年齢階級別新登録患者割合（平成30年）



平成27年以降小児結核はなし。
70歳以上が6割以上を占め、結核患者の高齢化がみられるのは例年同様。

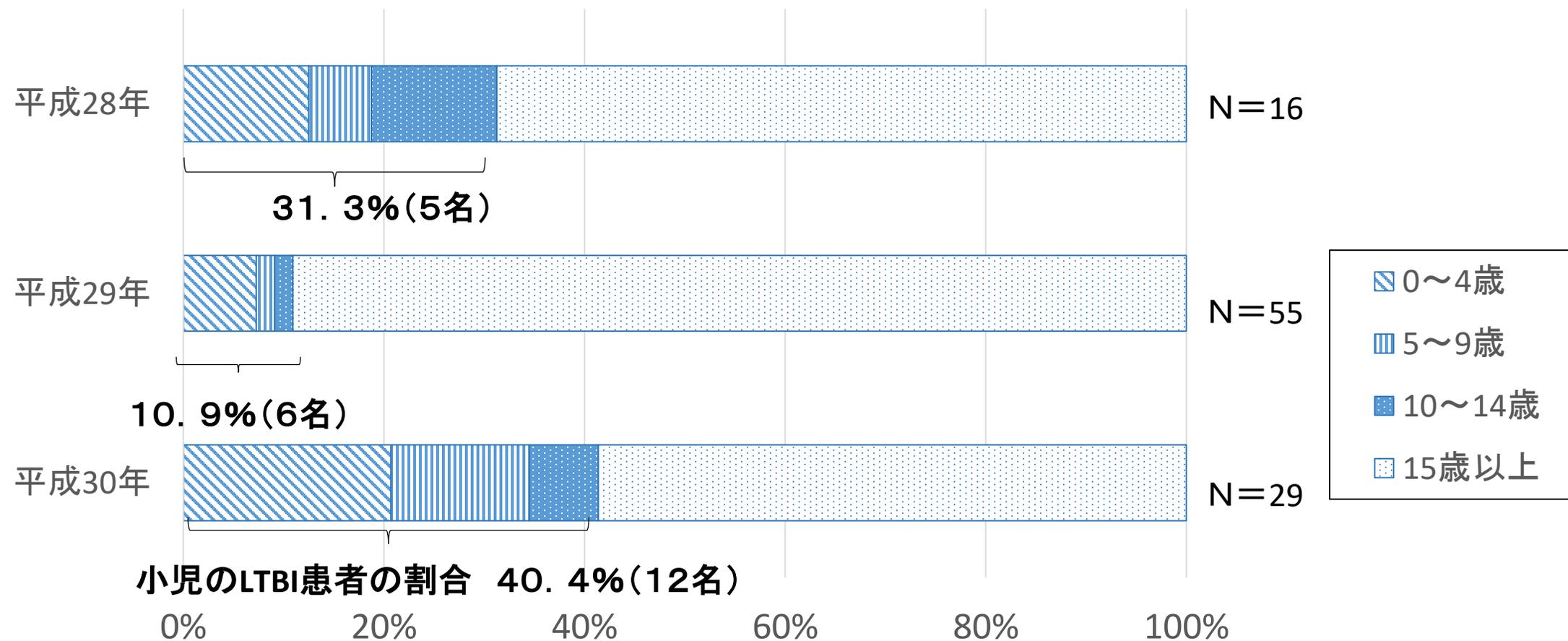
新登録患者における若年層（65歳未満）患者の割合推移



若年層は**17名**
うちデインジャー
グループが**5名**

平成28年から若年患者の割合はやや増加傾向である。

年齢階級別潜在性結核感染症患者割合（平成30年）

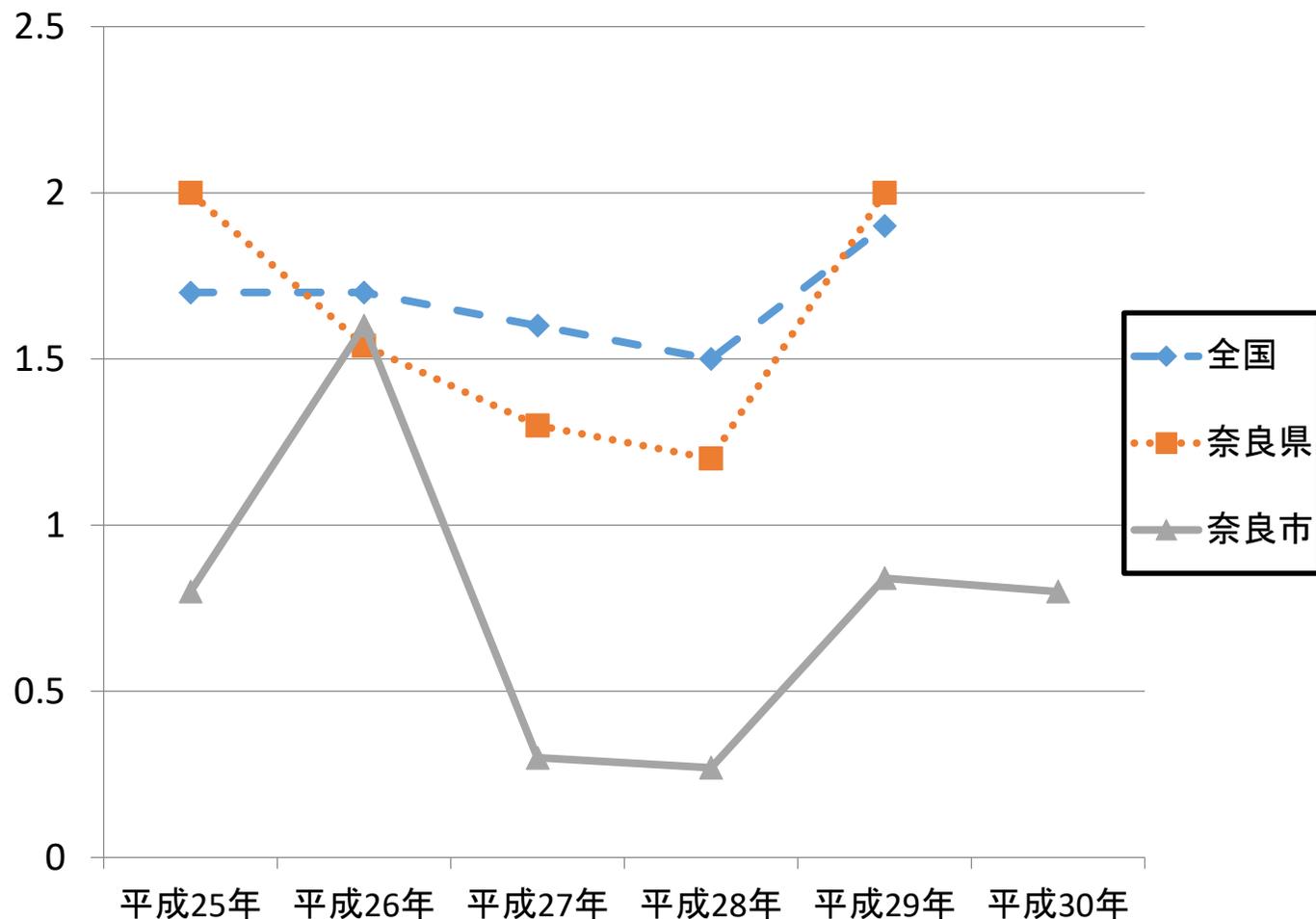


平成30年は若年の患者の接触者としてLTBI治療を開始した小児の割合が高かった。

結核死亡率

(人口10万対)

結核死亡率



	塗沫病型	発見の遅れ	合併症	登録から死亡までの日数
102歳男性	G1号Ⅲ型	なし	高血圧	26日
93歳男性	陰性Ⅲ型	なし	高血圧 無症候性脳梗塞 認知症	28日
88歳男性	陰性Ⅲ型	なし	バゾプレシン分泌過剰症 認知症	131日

結核死亡者は、全国と比較し低値で推移していたが平成30年は3人結核死亡あり。

平成30年の奈良市の結核の現状

- ・結核罹患率は横ばい状態。
- ・昨年同様、塗抹陽性患者の割合は約4割で、全国・奈良県と比較して高値である。
- ・65歳以上の結核患者は全体の7割以上を占めており全国より高く、80歳以上が4割以上を占めた。
- ・80歳以上の患者の37%は他疾患通院中に発見されていた。
- ・若年層の患者が増加しており、中にはデインジャーグループの患者がいた。
- ・潜在性結核感染症患者では小児の患者が4割を占めた。
- ・後期高齢患者の結核死亡者があり、死亡率は昨年と大きな変化はなかった。

奈良県結核予防ガイドラインにおける奈良市の進捗状況

奈良県結核予防ガイドライン

1. 患者の早期発見のための施策

- 1) 医療機関等における患者発見
- 2) 接触者健診の徹底
- 3) 定期健康診断の効果的な実施

2. 適切な結核医療の提供のための施策

- 1) 適切な医療
- 2) 服薬支援の強化
- 3) 地域医療連携体制

3. 原因の究明及び予防対策等

- 1) 発生動向調査体制の強化
- 2) 予防接種と小児結核対策
- 3) 高まん延国出身者等に関する結核対策
- 4) 院内感染・施設内感染の防止
及び集団感染防止の対策
- 5) 結核に関する啓発および知識の普及
- 6) 人材の養成

1. 患者の早期発見のための施策

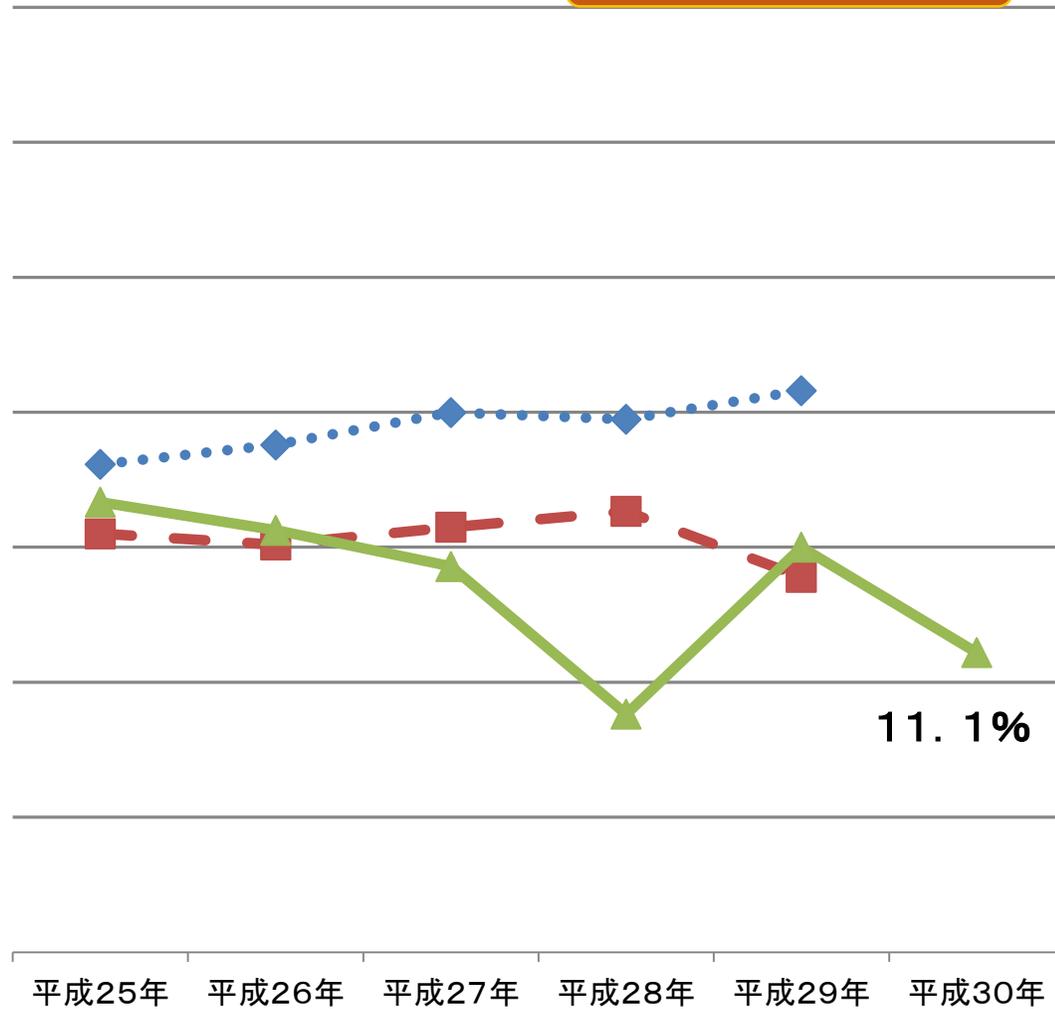
1) 医療機関等における患者発見

2) 接触者健診の徹底

3) 定期健康診断の効果的な実施

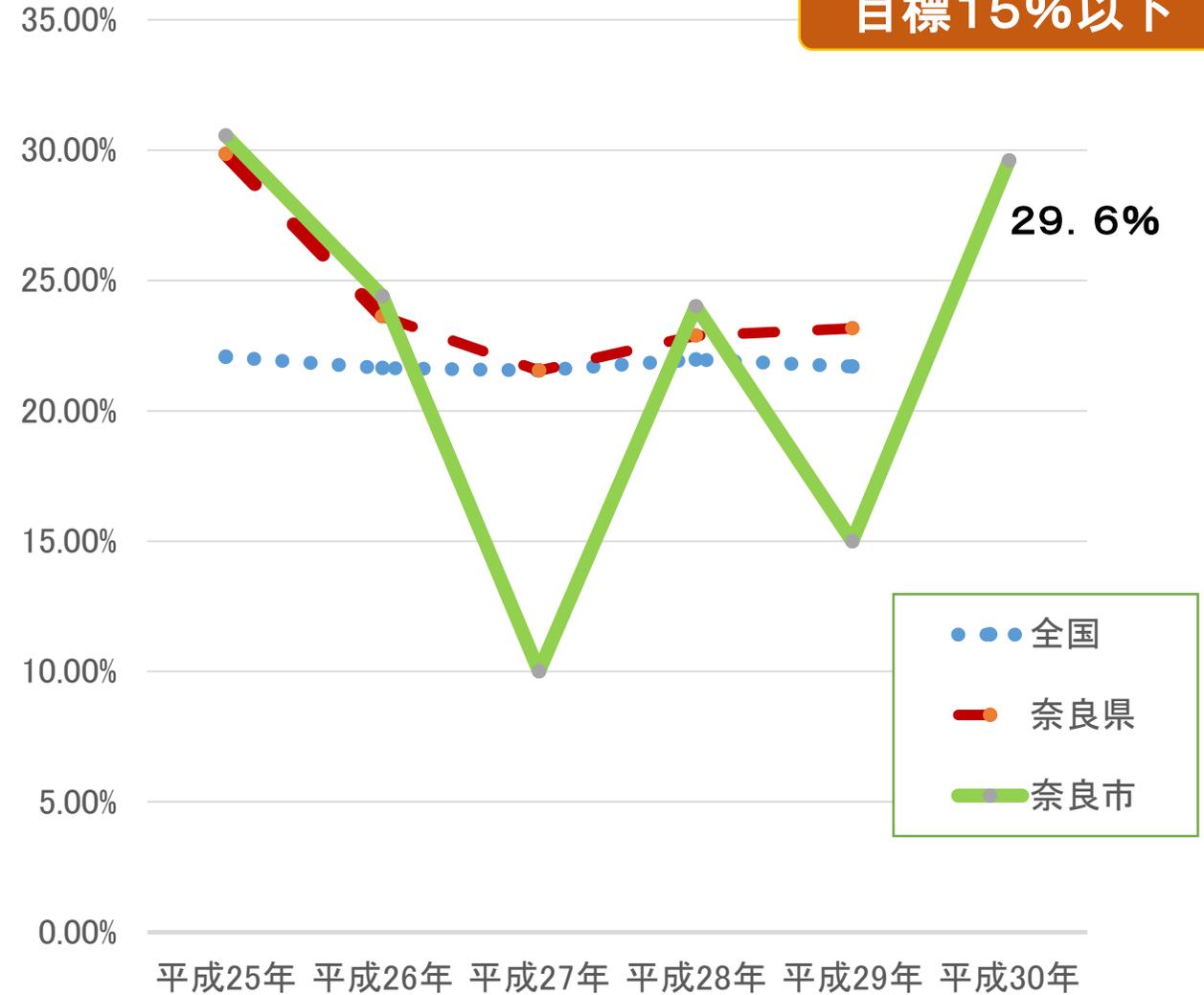
指標2: 発病から初診までが2か月以上の割合

目標10%以下



指標3: 初診から診断までが1か月以上の割合

目標15%以下



対象者:新登録肺結核有症状者

予防可能例の分析

分析対象者：平成30年菌陽性となった患者44名中予防可能例に該当した15名

登録年		H28		H29		H30	
要因		件数	割合	件数	割合	件数	割合
発見の大幅な遅れ		7	46.7%	9	40.9%	7	38.9%
うち 受診の遅れ		1		3		1	
診断の遅れ		6		7		5	
原因	XPをとったが陰影の見落とし	(2)		(3)		(3)	
	他疾患と診断しXPをとらなかった	(1)		(2)		(1)	
	XPをとったが硬化巣と判断、喀痰検査せず	(1)		(0)		0	
	XPをとったが陰影を経過観察とされた			(0)		(2)	
	その他	(2)		(2)		0	
双方の遅れ				1		1	
検診の長期未受診		6	40.0%	9	40.9%	10	55.6%
定期健診事後管理の不徹底		2	13.3%	3	13.6%	1	5.6%
接触者健診の不徹底			0.0%	1	4.6%	0	
予防可能例からの二次感染			0.0%	0	0.0%	0	
その他			0.0%	0	0.0%	0	
計 (重複あり)		15	100.0%	22	100.0%	18	100.0%

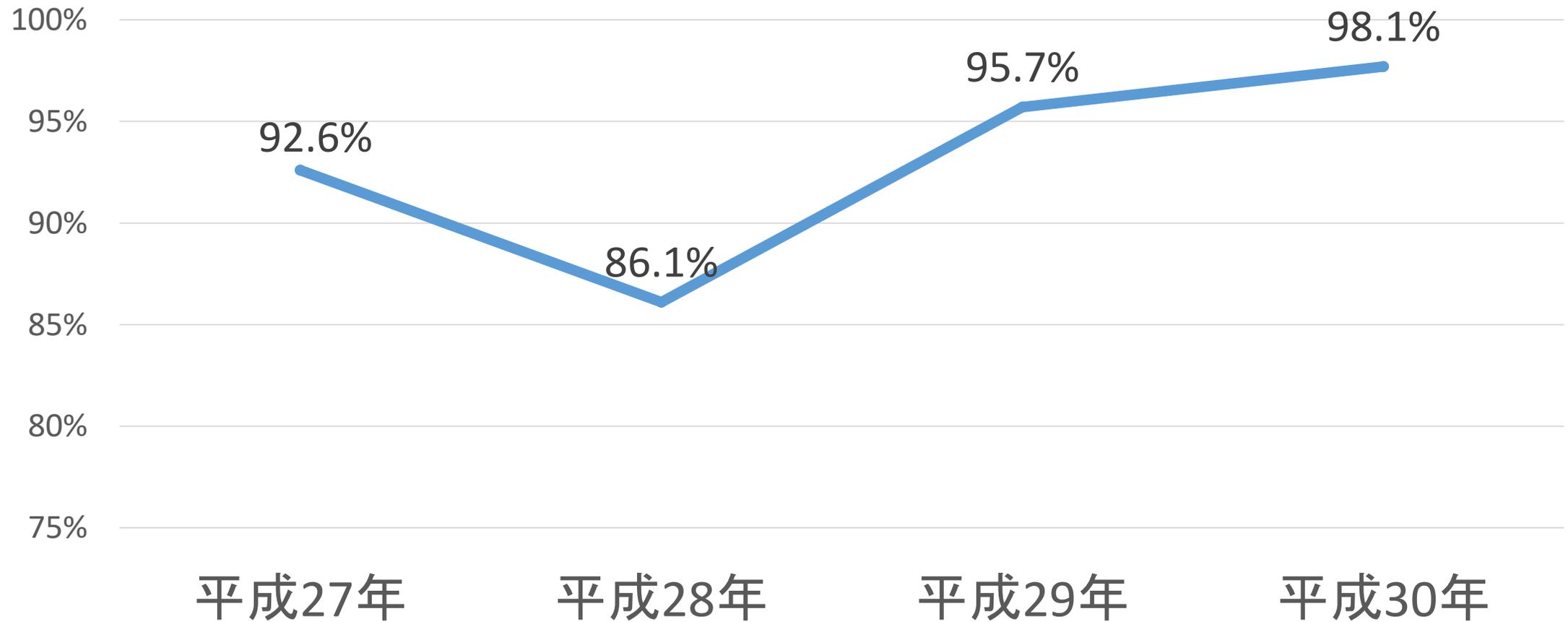
検診の長期未受診者10名

- ・若年層3名
- ・高齢者7名

**高齢者の内
4名は定期受診の機会なし
3名はかかりつけ医あり**

指標4：結核患者を診察した医師からの診断日の発生届

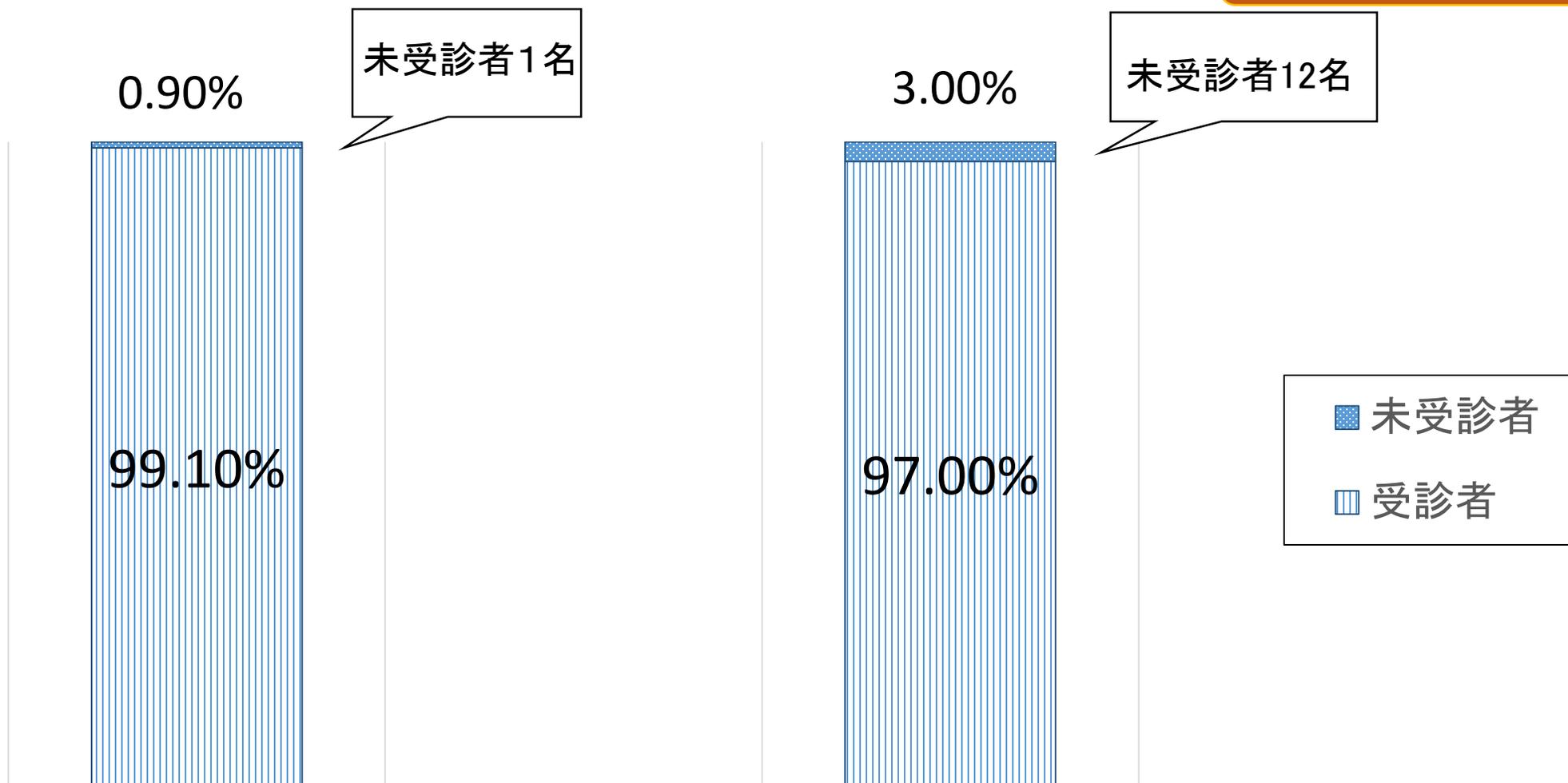
目標100%



指標5：家族健診受診率

指標6：接觸者健診(家族以外)受診率

目標100%

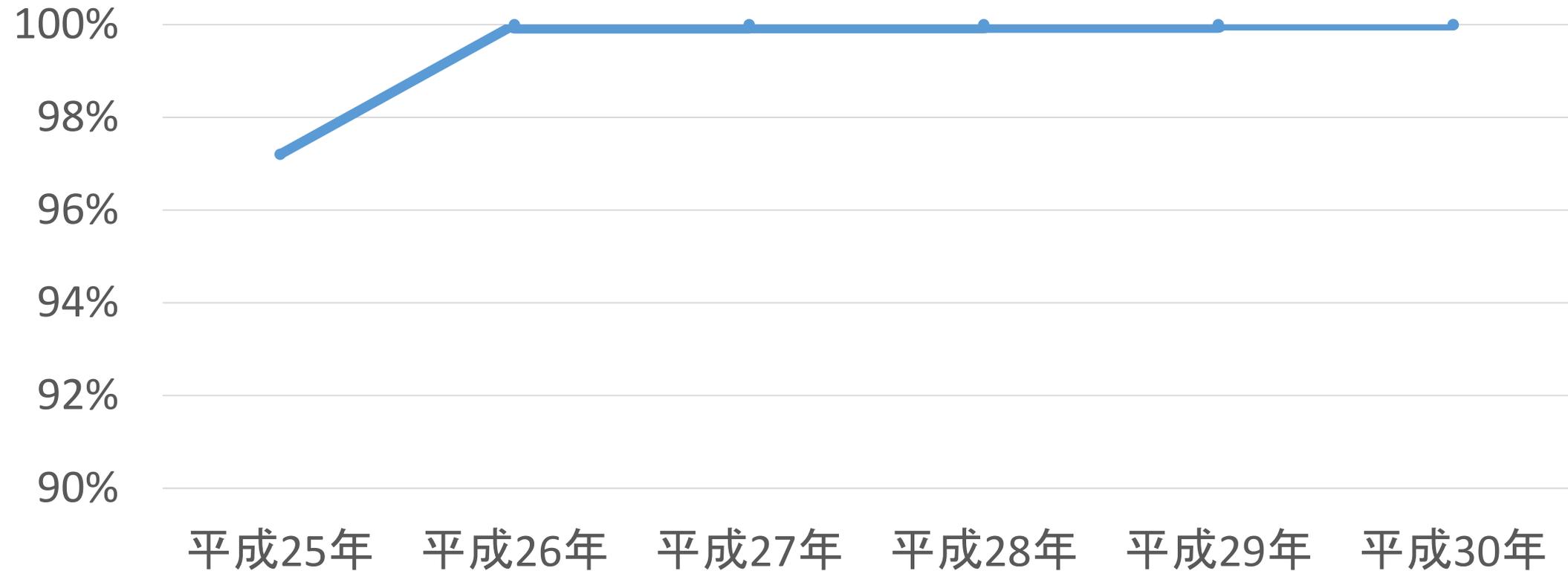


2. 適切な結核医療の提供のための施策

- 1) 適切な医療**
- 2) 服薬支援の強化**
- 3) 地域医療連携体制**

指標7：医療が必要な全結核患者中DOTS実施率

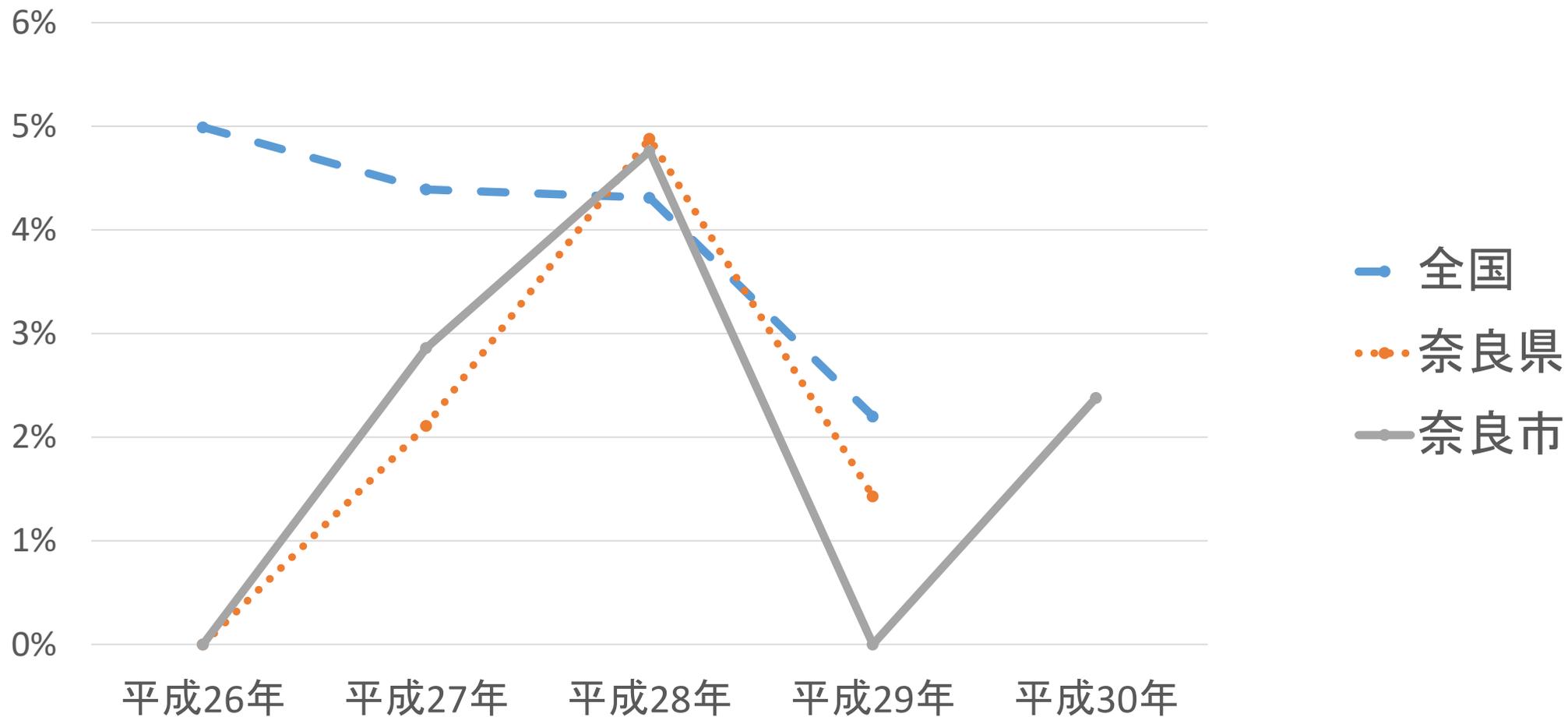
目標100%



過去5年間目標値のDOTS実施率100%を達成できている。

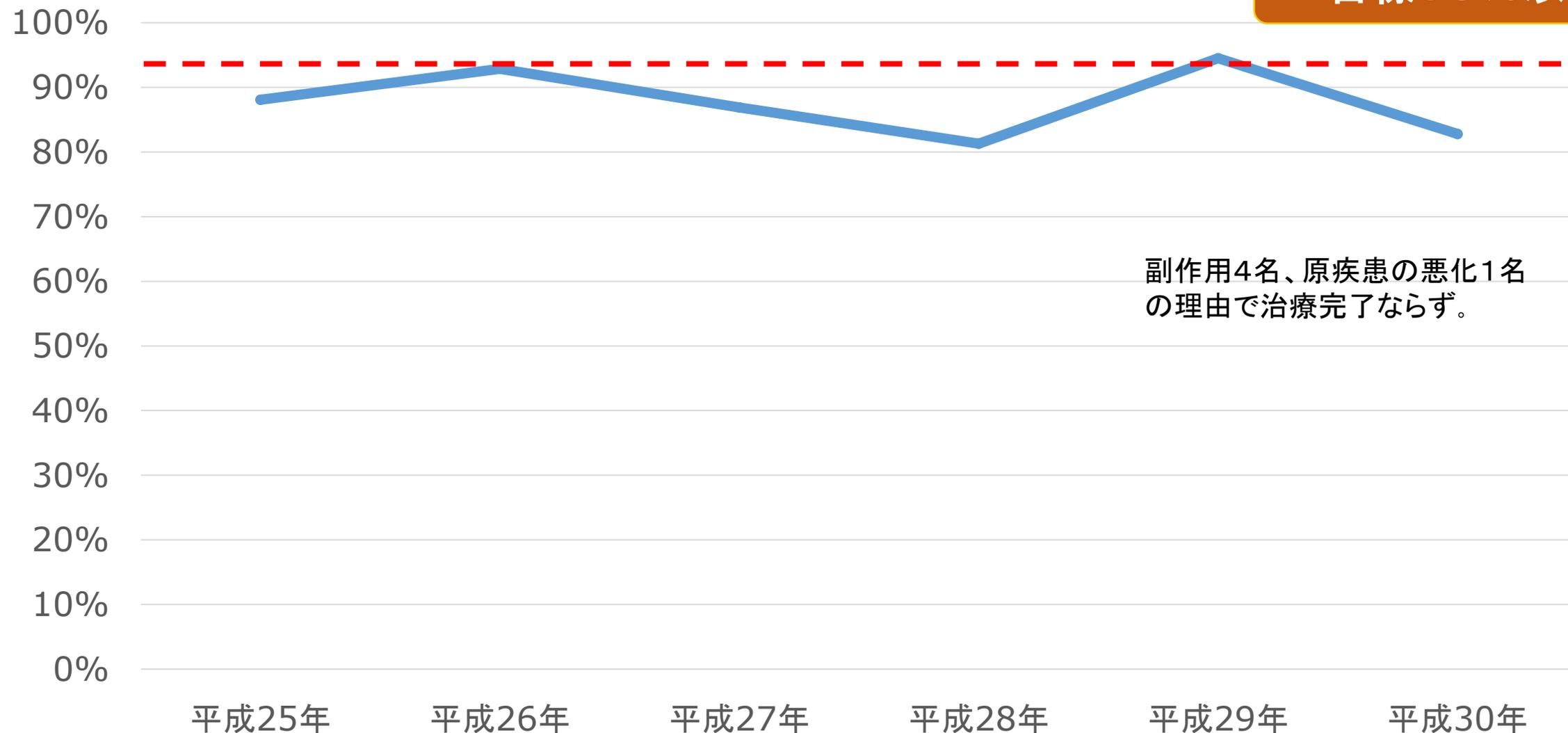
指標8：前年コホート分析 治療失敗中断脱落割合

目標2%以下



指標9：潜在性結核感染症の治療を開始した者のうち治療完了者の割合

目標95%以上



副作用4名、原疾患の悪化1名の理由で治療完了ならず。

治療に伴う副作用や原疾患の悪化のため目標値に達していない。

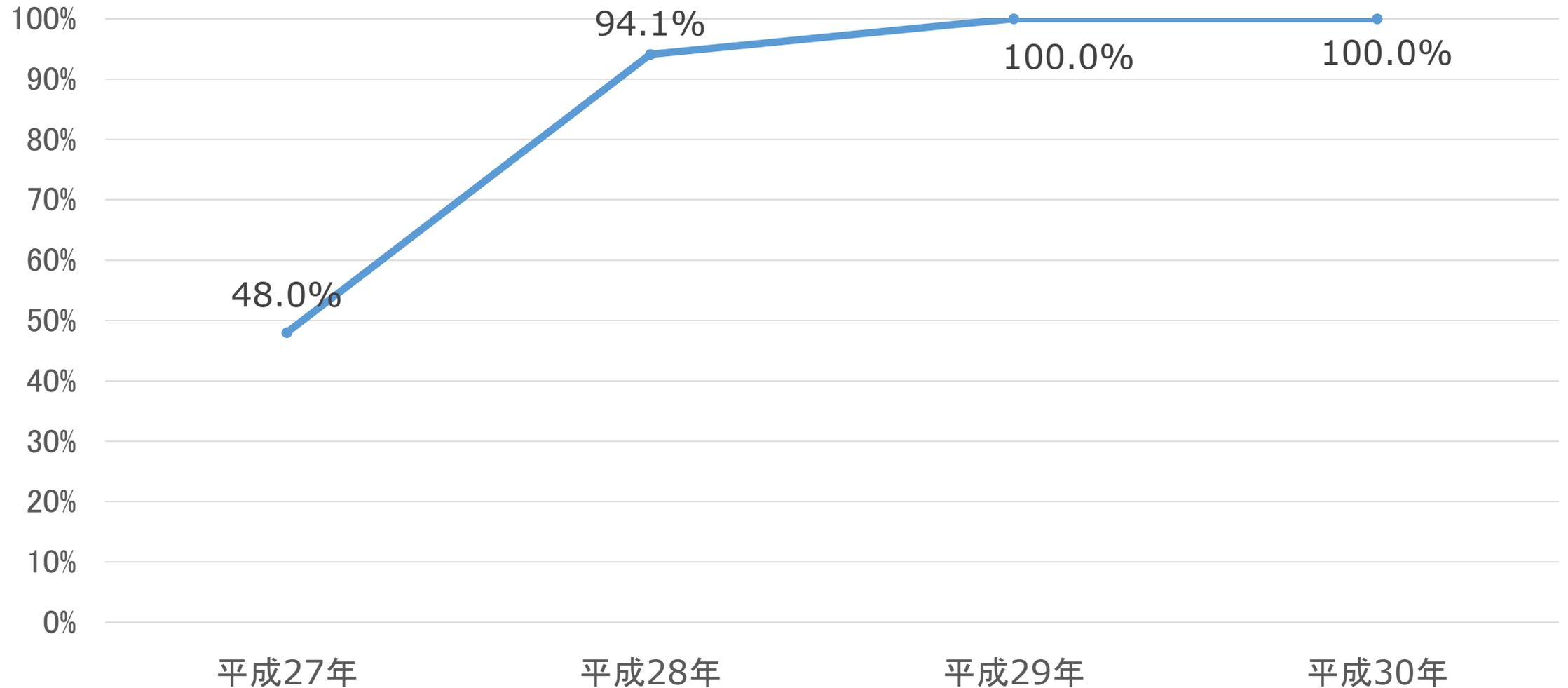
3. 原因の究明及び予防対策等

- 1) 発生動向調査体制の強化**
- 2) 予防接種と小児結核対策**
- 3) 高まん延国出身者等に関する結核対策**
- 4) 院内感染・施設内感染の防止及び
集団感染防止の対策**
- 5) 結核に関する啓発および知識の普及**
- 6) 人材の養成**

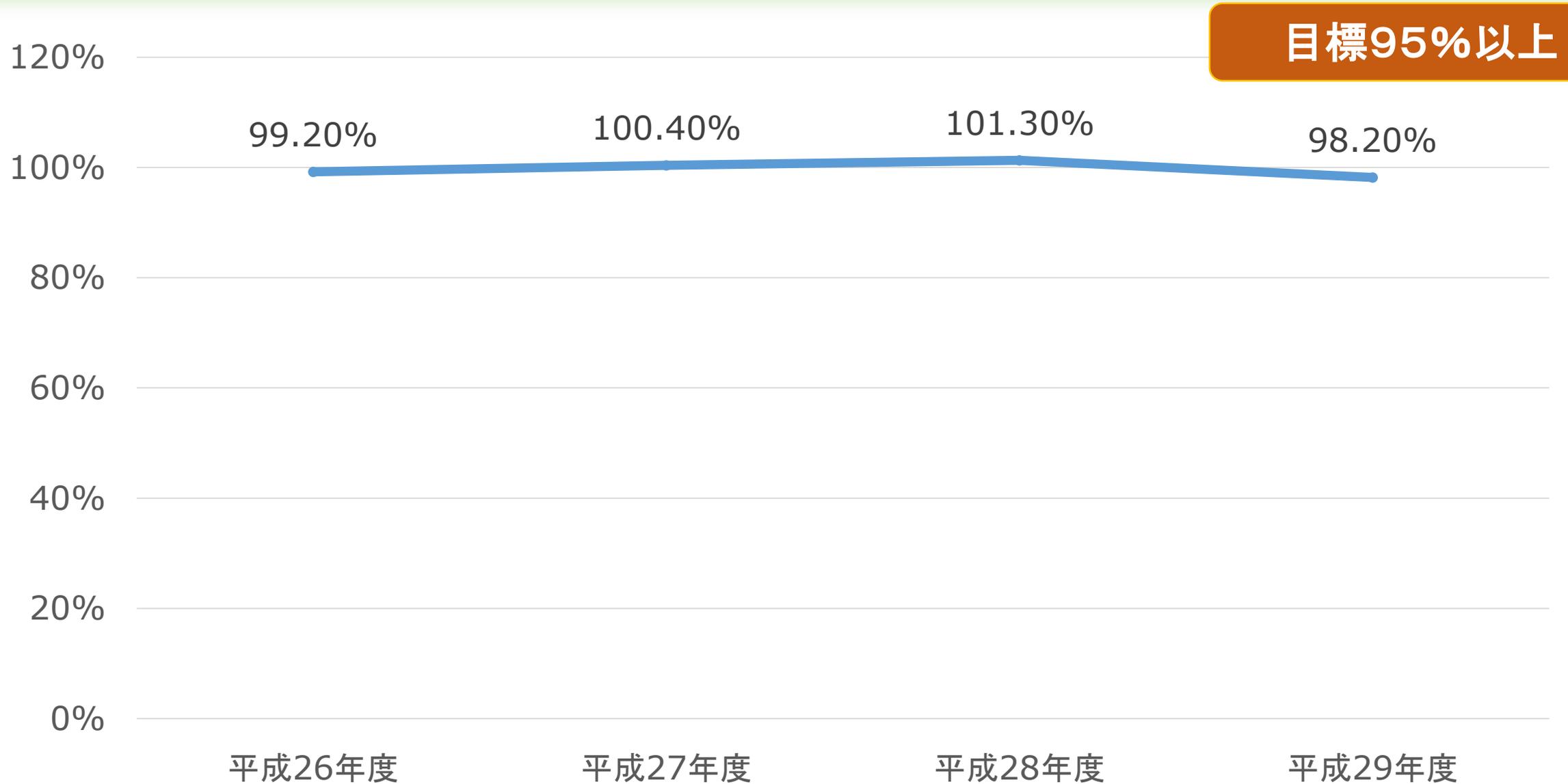
指標10: 分子疫学調査(塗抹陽性患者のみ)の実施率

目標100%

※平成28年より年齢に関わらず塗抹陽性患者全例を対象として実施



指標11: 生後1歳に至るまでの間にある者のBCG接種率

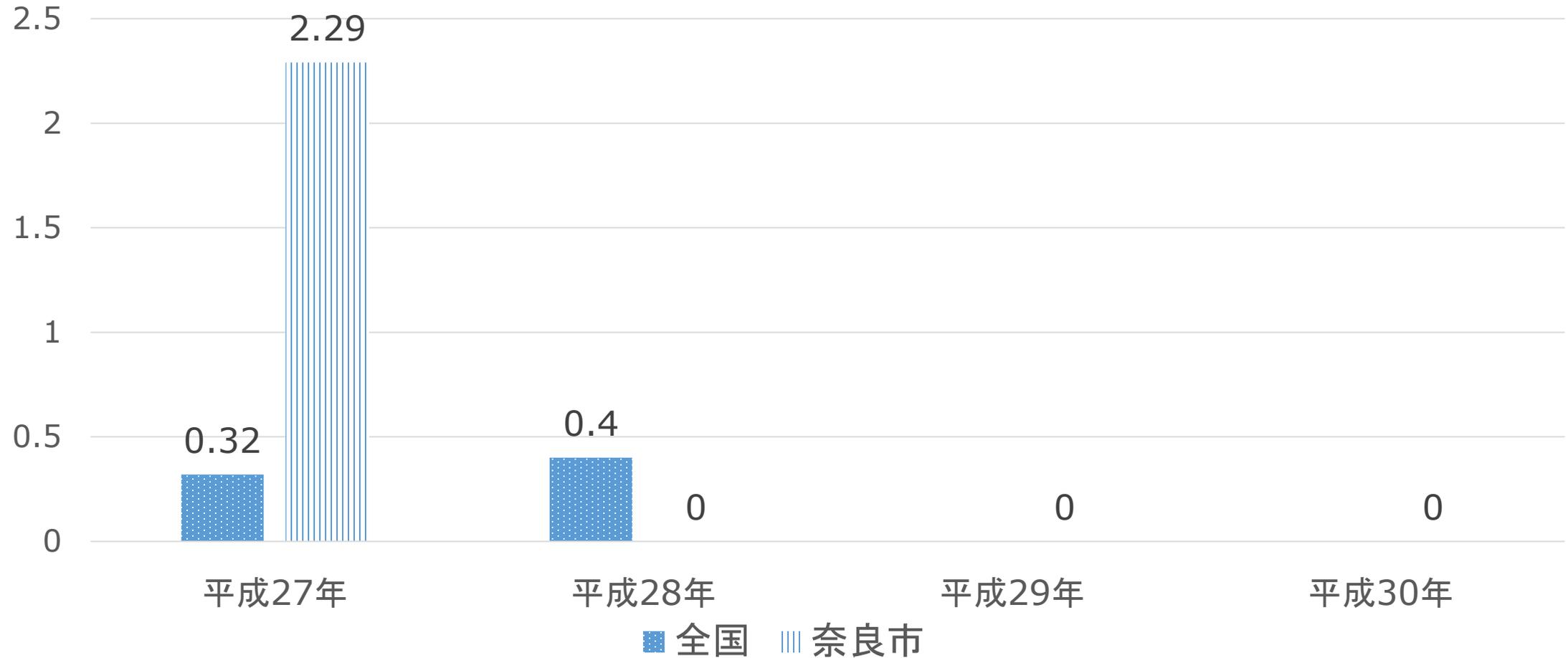


目標値である95%を達成できている。

指標12:小児結核罹患率

目標0.0

(人口10万対)



平成27年に小児結核1名が発生した以降はなし。
平成30年にLTBIとして登録された小児患者が平成31年1月に結核患者として登録

平成30年度 奈良市の取り組み

1) 患者の早期発見のための施策

おける患者発見

① 医療機関に

●感染症医師等研修会

結核の早期診断のポイント～「診断の遅れ」をはくすために、できること～奈良医療センター 玉置 伸二氏

●医療監視説明会

奈良市の結核の現状、早期診断の必要性について説明。院内で結核を疑う患者が発生した際の対応や届出等について説明した。

診断の強化

② 接触者健康

・積極的疫学調査結果や患者情報をもとに、接触者の健診の要否を今後の予防対策とともに検討。また健康診断実施結果を報告し、接触者健診の再検討も行う。

果的な実施

③ 定期健康診断の効

・定期健康診断報告書の様式変更医療機関・施設・学校・助産所等へ報告書配布し、未受診者の状況確認のため、電話連絡する。
・結核予防週間や市民や関係機関が集う場を活用した啓発を実施。結核予防週間でポスターやちらしを作成し関係機関や市民へ配布。

2) 適切な結核医療の提供のための施策

① 適切な医療

・患者が治療を受ける病院の医師や医療従事者に医療情報の確認。
・コホート検討会
月1回、4ヶ月及び12ヶ月コホート分析行い評価。

② 地域連携

・医療機関・福祉関係者とともにカンファレンス等を活用し、患者の確実な治療継続のため、支援体制を整える。

③ 服薬支援の強化

・地域DOTSアセスメントシートに基づき服薬
・中断リスクからABCの支援ランクを判定。
・地域DOTSアセスメントシートによる評価を地域DOTS開始時と開始2か月後に実施し支援報告会で決定。
・家庭訪問・電話支援・同行受診・来所DOTS
・退院時カンファレンスの実施。
・DOTS協力者との関係づくり。

3) 原因の究明及び予防対策等

① 発生動向調査体制の強化

・年齢等に関わらず、喀痰塗抹陽性患者については全数実施。

② 予防接種と小児結核対策

・小児結核予防の為に親世代にちらしを作成し、予防接種案内文送付時に配布。

③ 高まん延国出生者に関する結核対策

●奈良市における外国籍出身者数の把握。
●大学、専修学校等に就学する外国出生者の状況についてアンケート調査を実施。
●奈良県内の外国出生就労者数の把握。

④ 院内感染・施設内感染

・結核患者発生時や予防可能例該当事例等について院内での感染対策の状況等を確認し適切な助言を行う。
・医療監視等の場で事例が出た際に状況確認・指導。

⑤ 結核に関する啓発

・結核予防週間における啓発
H30. 9.25～9.28奈良市役所
H30.9.18～9.21はぐくみセンター(パネル展示)
H30.6月～9月 医療機関・高齢者施設・居宅支援事業所を対象に研修会実施。
H30.9月 学校・高齢者施設等(啓発ポスター、ちらし作成配布)

⑥ 人材育成

・結核研究所の研修への参加(医師)
・地区別講習会への参加。
・研修会後の復命や所内勉強会での伝達